

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策ガイドライン

岩手県高体連自転車競技専門部

コロナ禍における大会運営について（高総体県大会,新人戦県大会）

- (1) 選手・役員等をはじめ大会関係者全員の安全・安心の確保を最優先とする。
- (2) 大会運営にあたっては、開催地自治体及び使用する施設等が示す感染症拡大防止対策方針に従うものとする。
- (3) 生徒の参加同意を保護者から得た上での参加とすること。ただし、保護者・本人が不安を感じている場合、参加を強制するものではないこと。
- (4) 応援・観戦者の入場は、不可とする。ただし、記録及び情報提供の担当であれば、下記【感染予防策】の通り各校2名まで入場できる。

【感染予防策】

- (1) 大会前の対応
 - ① 選手、保護者、チーム関係者、大会及び競技役員等へは日常生活での感染症対策を徹底させるため、文書で通知する。【別紙1】
 - ② 選手は保護者の同意を得て参加することとし、事前に各校様式にて承諾書を所属校へ提出することとする。
- (2) 大会当日の対応
 - ※ 大会当日の朝、管理棟、スタンド手すり、トイレ、競技に関わる物品等を大会事務局で消毒するとともに、消毒液を設置する。
 - ① 選手
会場到着後、検温・体調チェックシート【別紙2】に記入し、各顧問のチェックをうける。(シートは各校にて保管)なお、発熱がある選手、体調不良の選手は不参加とする。
 - ② 大会及び競技役員、チーム関係者
会場到着後、検温・体調チェックシート【別紙2】に記入し、事務局へ提出する。なお、発熱がある方、体調不良の方は不参加とする。
 - ③ 保護者（応援参加者）
今回は、原則入場は認めない。ただし、記録及び情報提供の担当として各校2名まで入場を認めることとし、体調チェックシート【別紙2】を記入し、事務局に提出する。
- (3) 感染予防の基本行動
 - ① 3つの「密」（密閉空間、密集場所、密接場面）を回避する。
 - ② 身体的距離を確保する
 - ③ 手洗い・手指消毒を徹底する
 - ④ マスクの着用（ただし、選手は競技時以外で着用、熱中症や競技特性に応じた対応に留意）を徹底する。

(4) 感染及び感染の疑いが出た場合

※ 大会期間中に選手・大会関係者に感染者または感染の疑いの者が出た場合の緊急連絡手順【下図】で大会関係機関に報告する。

- ① 大会前及び当日、選手及びチーム関係者に感染者や濃厚接触者がでた場合は、参加校は大会出場を取りやめ、保健所の指示を受ける。
- ② 大会前及び当日、大会及び競技役員、保護者が感染した場合は、不参加とし保健所の指示を受ける。
- ③ 感染の疑いが出た場合は不参加とする。

大会期間中に選手・大会関係者に罹患の疑いが出た場合の緊急連絡手順

